

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 戦評

2025/10/11～13 TOMASEI フットボールフィールド

【準決勝（10/12）】

SSS 札幌サッカースクール 1-4 北海道コンサドーレ札幌 U-12
(1-2、0-2)

気温13℃、雨天の中での準決勝。前日の一回戦、二回戦ともにお互いに大量得点を重ねて勝ち上がってきた2チームの対戦。

【前半】

SSSのキックオフで定刻10:00にキックオフ。お互いに3-3-1のフォーメーションで試合が始まった。SSSは、前半開始から左サイドを起点に攻撃を試みる。また、コンサ札幌は、ワントップの9番を起点にした攻撃である。

コンサ札幌のファーストシュートは、前半1分だった。コンサ札幌9番が右サイドから相手陣地中央ヘドリブルで侵入し、フリーになった11番へパスし、11番が打ったシュートは相手にブロックされ、コーナーキックになる。SSSのファーストシュートは、同じく1分。相手陣地の右サイドでボールを受けた90番がミドルシュートを打つも外れてしまう。お互いにチームの戦術を生かした攻撃を進めるが、厳しい守備にあったり、スリッピーなピッチによるミスがあったりして、ゴールまで近づくがシュートを決めきれない時間が続く。試合が動いたのは、11分。コーナーキックを獲得したコンサ札幌のキッカー25番の左足から放たれたファーへのボールを飛び込んできたコンサ札幌19番がヘディングで見事に合わせて先制ゴール。その後、SSSは自陣からボールを失わずにビルドアップをし、左サイド6番がサイドチェンジをして10番がボールを受けてシュートまでもっていくが外れてしまう。この時間帯、相手陣地に押し込むことが続いたSSSは、17分にコーナーキックを獲得。キッカーは10番。10番の右足から放たれたボールは、コンサ札幌GP前に落下し、混戦しているところの隙を突いたSSS91番が詰め込んでシュートし、ゴールを挙げ、同点に追い付く。その後、前半終了間際の19分、SSSのゴールキックの跳ね返りをコンサ札幌9番が持ち出してミドルシュート。そのシュートがゴール左隅に見事に決まり、コンサ札幌が追加点を挙げる。1-2でコンサ札幌が1点をリードをしたまま前半が終了した。

【後半】

両チーム交代選手はなく、後半がキックオフ。後半開始後すぐに試合が動く。SSS 9 0 番が左サイドに出てきた 5 番へパス。中にいるボランチへ出したボールをコンサ札幌 9 番がインターセプトをする。コンサ札幌 9 番は、そのまま相手陣地中央にボールを運び、ペナルティエリア前でミドルシュートを放ち、見事に右隅に決めて追加点を挙げる。さらにコンサ札幌は猛攻を仕掛ける。2 2 分に 3 番から 9 番へ繋ぎ、オーバーラップをしてきた 1 1 番へ展開するなど、相手陣地でボールを支配する。2 3 分にコンサ札幌がコーナーキックを獲得する。コンサ札幌 1 0 番の右足から放たれたコーナーキックは、SSS の GP の頭上を越え、落下したボールをコンサ札幌 3 番が押し込んで 4 点目のゴールを挙げる。1 点でも追い付きたい SSS は、奪ったボールを焦らずにポゼッションをしながらビルドアップし、相手陣地へ侵入をしていく。2 6 分に、左サイドで受けた SSS 5 1 番が中央の 1 0 番へ繋ぎ、逆サイドの 3 0 番へ、さらにそこから 5 1 番がボールを受けてシュートを打つも惜しくも外れる。さらに、2 9 分には、SSS が直接フリーキックを獲得し、キッカーは 6 2 番。直接シュートを打つも、枠外に外れてしまう。3 5 分には、左サイドを SSS 5 番が突破をし、相手のファウルを誘って、直接フリーキックを獲得する。キッカーの 5 1 番の右足から放たれたシュートはコンサ札幌の壁に当たり、失敗してしまう。コンサ札幌は、追加点を目指す SSS の猛攻を粘り強い守備でことごとく防いでいく。4 1 分に、コンサ札幌はコーナーキックを獲得する。1 0 番は、ファーに蹴り込み、こぼれ球を 1 1 番がシュートをするも外れる。このまま終了のホイッスルが鳴り、北海道コンサドーレ札幌 U-12 が決勝戦進出を決めた。

〈苫小牧地区サッカー協会 事業委員 大串和弘〉

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 戦評
2025/10/11~13 TOMASEI フットボールフィールド

【準決勝（10/12）】

札幌ジュニア FC 2-0 AVENDA FC U12
(1-0・1-0)

気温13℃、雨天の中での準決勝。、札幌ジュニア FC と AVENDA FC U12 の対戦。

【前半】

AVENDA のキックオフで 10:00 試合開始。

AVENDA はキックオフからシュートを狙いにいくが、相手 DF にあたり、AVENDA が CK のチャンスを得る。前半早々 AVENDA は相手コート内でプレーを続ける。それに伴い、札幌ジュニアはカウンターで相手コートに前線へと攻める。AVENDA は再び CK のチャンスを得て、CK のクリアボールを AVENDA の 10 番がシュートを放つが枠外となる。AVENDA は攻め続けるが、札幌ジュニアの粘り強い守備で AVENDA は得点が奪えないまま試合が進んでいく。札幌ジュニアも攻撃に転じる時間が徐々に増え、AVENDA の GP が弾いたボールを札幌ジュニアの 4 番がシュートをするも枠外。札幌ジュニアも次第にパスが繋がり、前半 13 分に札幌ジュニアが相手ゴール前でシュートを打ち、相手 GP のこぼれ球を札幌ジュニアの 11 番が反応し、先制点を挙げる。札幌ジュニアは先制点を奪い、その後も主導権を握る展開となる。そのまま札幌ジュニアが押し続け、前半が終了する。

【後半】

札幌ジュニアのキックオフで後半開始。札幌ジュニアはキックオフからシュートを狙うが GP がこれをキャッチ。札幌ジュニアの 4 番が右サイドからドリブルで仕掛け、PA 付近でファールを受け、FK のチャンスを得る。札幌ジュニアは直接 FK を狙うが枠外。リードしている札幌ジュニアが勢いづき攻める中、札幌ジュニアの 11 番がシュートを打つが AVENDA の GP が好セーブで札幌ジュニア追加点を許さない。AVENDA も攻撃の手を緩めず、相手コート内で FK を得る。AVENDA は FK でリスタートし、クロスをあげるが札幌ジュニアの GP がキャッチ。相手ボールを奪った AVENDA は 10 番がドリブルで仕掛け CK を得る。札幌ジュニアのクリアを AVENDA が拾い、放ったシュートを札幌ジュニアの GP が弾き、AVENDA の得点を許さない。札幌ジュニアはパスを繋ぎ、PA 付近で札幌ジュニア 4 番がボールを受け反転してシュートするが AVENDA の GP がキャッチして追加得点とはならず、試合が進んでいく。後半 12 分に札幌ジュニアが左サイドからドリブルで仕掛け、クロスボールをあげ、PA 内で札幌ジュニアの 4 番にボールがわたり相手を交わしてシュートを打ち、見事追加点を奪う。札幌ジュニアは次第に主導権を握り、押し続ける。札幌ジュニアの CK で 4 番がヘディングをするが枠から外れる。札幌ジュニアは左サイドから中盤、右サイドとパスを繋げシュートを打つが枠から外れ追加点とはならず。AVENDA もカウンターで相手コートに進出しシュートを打つが、枠から外れ得点が奪えない。AVENDA は左サイドから FK を直接狙うが札幌ジュニアの GP がこれも好セーブで止める。このまま試合終了し、決勝戦に札幌ジュニア FC が進出し、コンサドーレ札幌 U12 と決勝戦を迎えることになった。

〈苫小牧地区サッカー協会 技術委員 羽田野 翔〉

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 戦評

2025/10/11～13 TOMASEI フットボールフィールド

【決勝戦（10/13）】

札幌ジュニア 0-2 北海道コンサドーレ札幌 U-12
(0-1、0-1)

前日の雨は止み、人工芝は乾いたが、風が強い中、多くの観戦者が見守る中での決勝戦。決勝戦のカードは、ここまで無失点で勝ち上がってきた札幌ジュニア。そして、決定機を逃さずにゴールを重ねて勝利してきた北海道コンサドーレ札幌 U-12 の札幌地区同士の対戦となる。

【前半】

風上のエンドを取ったコンサ札幌のキックオフで定刻10:00にキックオフ。お互いに3-3-1のフォーメーションで試合が始まった。ジュニアは、ロングボールを主体に前線の4番にボールを送る形で攻撃を試みる。また、コンサ札幌は、自陣からビルドアップし、10番を軸にワントップの9番や11番のサイド攻撃を有効に生かしたゲームを展開していた。

開始早々、コンサ札幌の11番が9番へ繋ぎ、相手DFに押し返されるもコンサ札幌6番が拾って打ったミドルシュートがファーストシュートになった。シュートはジュニア1番のGPがキャッチする。その後、ジュニアの10番が打ったシュートは正面の相手にぶつかり、それを拾ったコンサ札幌9番がシュートを放つが惜しくも左ポストを直撃。6分には、左サイドでボールを受けたコンサ札幌11番が中央の10番へ繋ぎ、右サイドの19番に展開してシュートをし、コンサ札幌が主導権を握り始める。一方、ジュニアは、コンサ札幌のシュートをしっかりとGPがブロックをして、得点を許さない。8分、ジュニアのGPからのゴールキックを前線の4番がヘディングで合わせたシュートがジュニアのファーストシュートとなった。その後、ジュニアは、ロングボールを4番が競り、相手からこぼれてきたボールを6番がシュートを打つも、弾かれてコーナーキックになる。ジュニアが放ったコーナーキックはゴール前でコンサ札幌DFが懸命に掻き出すが、それをジュニア9番がシュートを打つもバーの上に外れる。試合が動いたのは、17分。コンサ札幌は、セカンドボールをことごとく回収し、相手陣地の深いところに侵入を試みて、コーナーキックを獲得する。コンサ札幌10番の右足からファーに放たれたボールをコンサ札幌9番がヘディングで見事に合わせて先制点を奪う。先制点後も追加点を目指すコンサ札幌は、厳しい守備から相手ボールを素早く回収し、シュートまでもっていくも追加点はとれない。ジュニアは、コンサ札幌の猛攻をGP中心に全員の守備で防ぎ、前線へ繋ごうとするが、コンサ札幌が攻撃の芽を摘んでいく。そのまま前半は、コンサ札幌が1点をリードして終了した。

【後半】

両チーム交代選手はなく、後半がキックオフ。後半は風上に立ったジュニアは、キックオフ早々に、9番がロングシュートを打つも、ボールは枠外へ。24分、コーナーキックを獲得したコンサ札幌のキッカーは10番。ショートコーナーをコンサ札幌9番が受け、そのままペナルティーエリアへ侵入し、ニアサイドに狙ったシュートは外れる。その後、コンサ札幌10番が中央でボールを受け、前を向き、右サイドの11番へテンポよく展開。コンサ札幌11番が縦に仕掛け、相手DFに当たってコーナーキックを獲得。さらに、25分にもコンサ札幌は、こぼれ球を19番がシュートをし、相手DFに当たってコーナーキックを獲得。コンサ札幌は、この時間帯にセットプレーの時間が続くも、追加点には至らない。26分、ジュニアは、前半同様にGP1番からのロングボールを前線で9番が相手と競り合い、4番がそれを拾い攻撃を試みるもゴール前までは運ぶことができない。後半の試合が動いたのは、28分。ジュニアのボールを回収したコンサ札幌10番は、右サイド11番に展開し、縦に仕掛けてコーナーキックを獲得する。キッカーはコンサ札幌25番。左足でニアサイドのゴールに向かっていくボールは、ジュニアGP正面に行き、両手で弾くも、ボールがそのままゴールに入り、コンサ札幌は追加点を挙げる。1点を追いつきたいジュニアは、失点後のキックオフのボールを受けた4番がダイレクトでロングシュートを放つも枠外に外れる。ジュニアは、前線からの圧力をかけて守備をするようになり、ボールを保持する時間が続くようになる。30分、ジュニア10番がインターセプトをし、右サイドを駆け上がる。また、32分にも前線でコンサ札幌からボールを回収し、ゴールを目指すもシュートまでもっていくことができない。34分、ジュニア8番が左サイドからクロスを上げ、それを4番がシュートをするもミートせず、ゴールを決めきれない。さらに、35分、ジュニア8番はロングスローを相手ペナルティーエリアへ放つも、ゴールキックになる。ジュニアの勢いある猛攻を防ぎ、急がずにポゼッションをしながらビルドアップをしていくコンサ札幌は、36分、中央で受けたコンサ札幌5番はそのまま中央を突破してシュート。また、右サイドで受けたコンサ札幌18番が縦に仕掛けてコーナーキックを獲得したりと、焦らずに攻撃を進め、さらなる追加点を目指す。終了間際までお互いに得点を諦めずに目指すが、ホイッスルが鳴り、試合終了。セットプレーからの得点を重ねた北海道コンサドーレ札幌U-12が優勝を決めた。

〈苫小牧地区サッカー協会 技術委員 長田拓生〉